

RsWedge(TM)

ソフトウェアキーボードウェッジ

改定記録		
改訂番号	改定日	内容
Rev.1.0	Apr.2004	初版
Rev.1.1	May.2005	P2 シリアルナンバーをインストールキーに変更
Rev.1.2	Dec.2006	対応 OS を Windows2000/XP に変更
Rev.1.3	Mar.2008	Ver.1.6 対応 (キー送信設定を追加)
Rev.1.4	Mar.2008	Ver.2.0 対応。これに伴い全面見直し。
Rev.1.5	Dec.2009	シリアルバッファ読み込み待ち時間設定を追加
Rev.1.6	Feb.2016	UTF-8→SJIS 変換に対応
Rev.1.7	Aug.2017	Ver.2.5 に対応 RTS 制御 / CTS 制御 / XON/XOFF 制御を分割 送信間隔の追加 キーの送信方法変更 不要項目の削除
Rev.1.8	Dec.2018	ドキュメントの新住所更新対応

1. 本書の著作権はウェルコムデザイン株式会社に属します。
2. 本書の内容は、改良のため、将来予告無く変更する場合があります。
3. 本書の全部または一部を無断で複製することはできません。
4. 本書内に記載している製品名等の固有名詞は、弊社または各社の商標または登録商標です。
5. 本書内において、誤り・記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
6. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

目次

1. はじめに	4
1.1. 製品の特長	4
1.2. 対応 OS	4
2. インストールとアンインストール	5
2.1. インストール	5
2.2. アンインストール	5
3. 操作方法	6
3.1. 起動	6
3.2. 終了	7
3.3. 最小化	7
3.4. 再表示	7
4. 画面	8
4.1. ライセンス登録画面	8
4.1.1. 評価版	8
4.2. メイン画面	9
4.2.1. 通信設定	9
4.2.2. 受信設定	10
4.2.3. 送信設定	11
4.2.4. UTF-8 ⇒ Shift-JIS 変換設定	11
4.2.5. 全角コード設定	12
4.2.6. 半角コード設定	12
4.2.7. 付加コード設定	13
4.2.8. 入力データ表示	13
4.2.9. ボタン	14
4.2.10. 自動実行	15
4.3. ログ設定画面	15

1. はじめに

RsWedge は、シリアルポートから受け取ったデータを、アクティブなウィンドウにキー入力データとして送るソフトウェアです。

※「アクティブなウィンドウ」とは？

入力や操作の対象となっているウィンドウで、通常は一番手前に表示されています。

1.1. 製品の特長

- ・ 読み取ったデータは、16 進数および文字列で表示されます。通信設定や読み込みデータの確認にご利用いただけます。
- ・ 受信開始・終了コードを指定すると、前後の不要なデータを除去できます。
- ・ JIS コードの場合、全角や半角カナの開始・終了コードを指定することで、シフト JIS に変換して出力可能です。
- ・ UTF-8 コードの場合、UTF8→SJIS 変換ありと設定することで、シフト JIS に変換して出力可能です。
注意： UTF-8 にあって、シフト JIS にない文字など一部の文字については正常に処理されません。
- ・ 読み込んだデータの前後に、文字列や仮想キーコードを付加することができます。
- ・ 開始・終了などの各コードは、キー入力またはキーコードの一覧から選択することで、簡単に設定できます。

1.2. 対応 OS

Windows 7 / 8 / 10

ご注意ください!

- ・ ご使用のアプリケーション（ウィンドウ）によっては、データを送れない場合があります。

2. インストールとアンインストール

2.1. インストール

1. 「setup.exe」を起動してください。
 2. インストールが開始されますので、メッセージに従ってインストールしてください。
- ・ 前のバージョンの RsWedge がすでにインストールされている場合、その RsWedge を先にアンインストールしてください。

2.2. アンインストール

1. コントロールパネルより、[プログラムと機能] → [RsWedge] を選択してください。

3. 操作方法

3.1. 起動

- ・ デスクトップ上の RsWedge のアイコンをダブルクリックします。



- ・ スタートメニューからプログラムメニューを表示し、「RsWedge フォルダ」⇒「RsWedge」をクリックします。

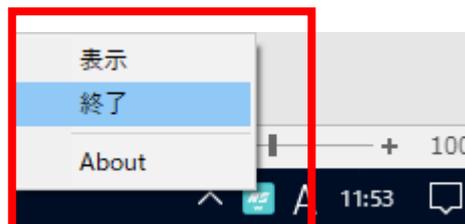


3.2. 終了

- ・ メイン画面の右上にある  ボタンをクリックします。
- ・ 最小化されている場合
 1. タスクトレイに表示されているアイコンを右クリックします。



2. 右クリックメニューが表示されます。



3. 終了を選択します。

3.3. 最小化

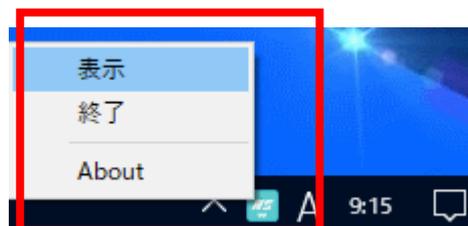
- ・ メイン画面の右上にある  ボタンをクリックします。
最小化を行うと、タスクトレイに格納されます。

3.4. 再表示

1. タスクトレイに表示されているアイコンを右クリックします。



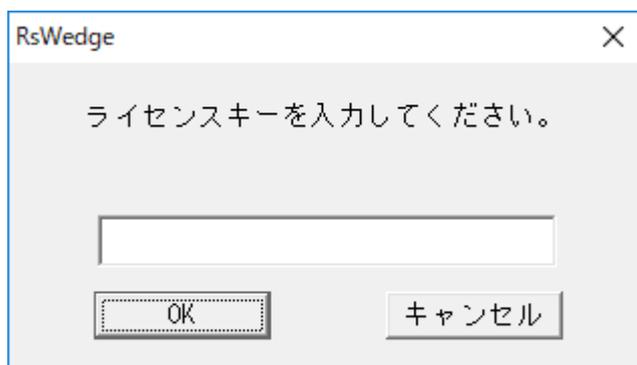
2. 右クリックメニューが表示されます。



3. 表示を選択します。

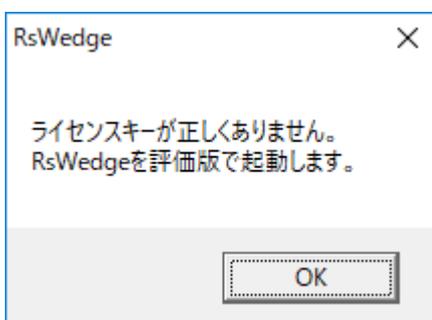
4.画面

4.1. ライセンス登録画面



「RsWedge」初回起動時、ライセンス登録画面が表示されます。

- ・ CD または付属文書に記載しているキーを入力して下さい。
- ・ ライセンスキーを入力せず、キャンセルボタンを押下する、ライセンスキーが異なる場合、下記のポップアップが表示され、評価版として、動作します。



4.1.1. 評価版

下記、2 パターンの読取制限がかかります。

- ・ 30 回の読取制限
- ・ 2000byte の読取制限

読取制限をオーバーした場合には、右記のポップアップが表示されます。

「RsWedge」を再起動して頂くと、再度使用可能となります。



4.2. メイン画面



4.2.1. 通信設定

1. ポート
2. 通信速度
3. データ長
4. パリティ
5. ストップ長
6. RTS 制御
7. CTS 制御
8. XON / XOFF 制御



接続するスキャナに合わせて、設定を行って下さい。

4.2.2. 受信設定

受信設定

開始コード 削除する

終了コード 削除する

受信待ち時間 ms / データ間隔 ms

1. 開始コード
受信するデータの開始コードを設定します。
設定した場合、開始コードを受信するまでは、データを破棄します。
削除にチェックを入れると、開始コードも削除します。
2. 終了コード
受信するデータの終了コードを設定します。
設定された場合、開始コードから終了コードまでを受信し、残りのデータを破棄します。
削除にチェックを入れると、終了コードも削除します。
3. 受信待ち時間
1ms ~ 2000ms で設定出来ます。
4. データ間隔
1ms ~ 2000ms で設定出来ます。

ご注意ください!

- ・ 開始コード / 終了コードのどちらか一方だけ設定すると受信データ、ログデータが意図しない事が起こる場合がありますので、設定する場合には、両方共設定する様にして下さい。
- ・ 開始コード / 終了コードを同一文字に設定すると、意図しない結果となる事がありますので、同一文字を設定しない様にして下さい。
- ・ 受信待ち時間、データ間隔は、受信出来なかった場合、転送出来なかった場合に変更する様にして下さい。通常時、変更すると、データが繋がってしまったり、途中で切れたりする可能性があります。

4.2.3. 送信設定

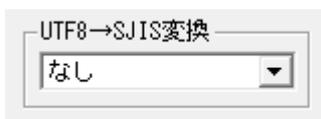


1. 送信間隔

1ms ~ 2000ms で設定が出来ます。

- ・ アクティブなウィンドウへキーデータ送信時、桁落ちや文字が正常に送れていない場合、値を調整して下さい。

4.2.4. UTF-8 ⇒ Shift-JIS 変換設定



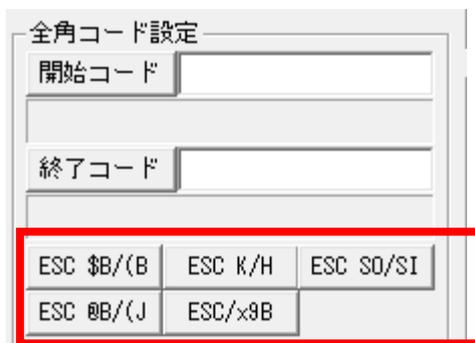
1. UTF-8 ⇒ Shift-JIS 変換

バーコードのデータが、UTF-8 で作成されている場合、設定を「あり」にすると、Shift-JIS コードへ変更します。

ご注意ください!

- ・ UTF-8 コードに存在していて、Shift-JIS コードには、存在していない文字が一部存在しています。その場合、正常に変換処理出来ません。

4.2.5. 全角コード設定



1. 開始コード

JIS コードを読み取る場合には、開始コードの設定が必要となります。
一般的なコードの組み合わせは、赤枠のボタンを押下する事で、自動的に設定されます。

2. 終了コード

JIS コードを読み取る場合には、終了コードの設定が必要となります。
一般的なコードの組み合わせは、赤枠のボタンを押下する事で、自動的に設定されます。

4.2.6. 半角コード設定



1. 開始コード

JIS コードを読み取る場合には、開始コードの設定が必要となります。
一般的なコードの組み合わせは、赤枠のボタンを押下する事で、自動的に設定されます。

2. 終了コード

JIS コードを読み取る場合には、終了コードの設定が必要となります。
一般的なコードの組み合わせは、赤枠のボタンを押下する事で、自動的に設定されます。

4.2.7. 付加コード設定

付加コード設定

開始コード

終了コード

1. 開始コード
読み込まれたデータの先頭にコードを付加します。
2. 終了コード
読み込まれたデータの末尾にコードを付加します。

ご注意ください！

- ・ 受信設定で、開始コード / 終了コードを設定している時のみ有効となります。
設定していない場合には、開始 / 終了の付加コードは、無効となります。

4.2.8. 入力データ表示

入力データ表示

クリア

入力コード (16進表示)

出力文字列 (文字表示)

RsWedge がアクティブな状態で、データを受信した場合、受信したデータの入力コードと出力文字列が表示されます。

1. 入力コード
受信したデータを、16 進数表記で表示します。

2. 出力文字列

受信したデータを、編集し、文字列として表示します。

- ・ 制御コード (0x01 ~ 0x1F / 0x7F) は、<>で囲んで、コントロール文字列に置き換えて、表示します
- ・ 仮想キーコードは、[]で囲んで、表示します。

3. クリアボタン

入力コード / 出力文字列欄のデータを初期化します。

4.2.9. ボタン



1. ログ設定

ログ設定画面を表示します

2. About

バージョン情報画面を表示します。

3. 開始

設定内容を保存し、COMポートをオープンします。

正常にポートがオープン出来たら、COMポートからの受信待ちを行います。

4. 中止

COMポートをクローズし、受信待ちを終了します。

5. 設定読込

ファイル選択画面を表示し、ファイルから設定を読み込みます。

6. 設定書込

ファイル選択画面を表示し、ファイルへ設定内容を書き込みます。

4.2.10. 自動実行

 起動時、自動実行

1. 起動時、自動実行

次回起動時、現在の設定で COM ポートをオープンして、最小化します。

4.3. ログ設定画面

1. データの記録

データを記録する / 記録しないの設定を行います。

アクティブなウィンドウへデータを送りたくない場合には、「キー送信しない」にチェックを入れてください。

2. ファイル作成方法

・ 新規作成

既存ファイルを削除して、ファイルを作成し、データを書き込みます。

・ 追加書込み

既存のファイルの最終行へデータを追記します。

3. サイズ制限

ログファイルの最大サイズを設定します。

最大サイズを超えた場合の処理方法として、下記 2 項目あります。

- ・ メッセージを表示する
- ・ データの記録を行わない

4. ファイル設定

ログファイルを出力するフォルダパス / ファイル名称を設定します。

- ・ 記録するデータ

1. 日付

日付を先頭に出力します

形式：YYYY/MM/DD

2. 時刻

時刻をコードの前に出力します。

形式：hh:mm:ss

3. 制御コードを文字に変換して出力

受信データの中に含まれる制御コードを文字に変換して出力します。

4. 改行コードを付ける

受信コードの後ろへ改行コードを付加します。

※ データの区切り文字は、半角スペースとなります。

お問合せ窓口

・弊社ホームページ <http://www.e-welcom.com/> 問合せフォームよりお問合せください。
お問合せ内容は、本製品に関することに限らせて頂きます。

・本ソフトウェアの加入員については、お近くの販売店又は弊社までご相談ください。



ウェルコムデザイン株式会社

URL: www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

本 社 〒651-2228 兵庫県神戸市西区見津が丘1-13-3
TEL. 078-994-5333 (代) FAX. 078-994-5400

東京本社 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル
TEL. 03-5295-7250 (代) FAX. 03-5295-7252

